様式第3号（第17条関係）（表面）

（職業訓練受講給付金支給申請書の記載例）

職業訓練受講給付金支給申請書

本人記載欄

①申請番号	13010××××××
フリガナ	ジュコウ　タロウ
②氏　　名	受講　太郎
③生年月日	昭和・平成　54　年　6　月　16　日　満（　36　）歳
④住　　所	〒604－○○○○ 京都市中京区両替町通御池上る金吹町451
⑤個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
⑥訓練番号	4－28－26－02－05－9999
⑦訓練科名	介護サービス科（初任者研修コー
⑧訓練実施施設名	学校法人　求職者支援学園
⑨支給申請の対象となる訓練期間	平成　28　年　4　月　6　日　～　平
⑩事前審査時からの変更	☑ なし ☐ あり（収入・世帯収入・金融資産・土地建物・同時支給・その他） ☐ あり（住所・通所経路）
⑪添付書類	☑ 就職支援計画書　☑ 職業訓練 ☑ 職業訓練受講給付金事前審査通知書 ☑ その他（遅延証明書、葬儀案内状、

①欄は、職業訓練受講給付金事前審査通知書に記載された申請番号を記載してください。

⑥～⑧欄は、あなたが受講する訓練番号、訓練科名、訓練実施施設名を記載してください。
⑥欄は、公共職業訓練を受講する場合は、空欄としてください。

⑩欄は、事前審査を受けたときから現在の間に、状況の変化があった場合には「あり」にチェックをし、該当する要件を○で囲んでください。

職業訓練等を受けなかった日がある場合であって、疾病又は負傷又はやむを得ない理由がある場合には、それを確認できる書類を添付するとともに、⑪欄のその他の欄にチェックを入れてください。

職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律施行規則第17条の規定により、上記のとおり職業訓練受講給付金（職業訓練受講手当・通所手当）の支給を申請します。

平成　28年　5月　9日

西陣 公共職業安定所長
~~地方運輸局長~~　殿

申請者氏名　受講　太郎　（記名押印又は署名　受講）

日付、申請者氏名欄の申請者氏名については、記名押印又は署名のいずれかにより記載してください。

（注　意　事　項）

1　申請内容は正しく記載してください。偽りその他不正の行為により、又は受けようとしたときは、以後職業訓練受講給付金を受けなく、不正受給した金額の返還と更にそれに加えて一定の金額の納付刑罰に処せられることがあります。
2　この申請書は、指定来所日に、必ず本人が提出してください。
3　職業訓練受講手当の額は、支給申請の対象となる訓練期間（支給単位期間）が２８日未満の場合は３５８０円×支給単位期間における日数、それ以外の場合は１０万円となります。
4　通所手当の額は、職業訓練受講給付金通所届を参考に、運賃、時間、距離等の事情に照らし安定所が算定した額となります。
5　①欄は、職業訓練受講給付金事前審査通知書に記載された申請番号を記載してください。
6　⑥～⑧欄は、あなたが受講する訓練番号、訓練科名、訓練実施施設名を記載してください。なお、⑥欄について、公共職業訓練を受講する場合は、空欄としてください。
7　⑨欄は、今回の支給申請において、給付金の支給対象となる訓練期間を記入してください。
8　⑩欄について、事前審査を受けたときから現在の間に、状況の変化があった場合（例えば、家族状況に変化があった時など）は「あり」にチェックをし、該当する要件を○で囲んでください。
9　⑩欄の「収入」とはあなたの収入を、「世帯収入」はあなたの収入に加え、同居の又は別居の配偶者、子及び父母の収入を合算した収入を指します。
10　職業訓練等を受けなかった日又は職業訓練等を一部のみ受けた日がある場合であって、疾病若しくは負傷又はやむを得ない理由がある場合にはそれを確認できる書類を添付するとともに、⑪欄のその他にチェックを入れてください。
11　⑪欄の下の申請者氏名については、記名押印又は署名のいずれかにより記載してください。

様式第3号（裏面）

訓練機関記載欄

求職者支援訓練等受講証明

⑫ 右のカレンダーに該当する印を付けてください。

(1)職業訓練が行われなかった日　＝印（取消線）

(2)職業訓練を一部のみ受けた日　△印

(3)職業訓練を受けなかった日　×印

※(2)に該当する日がある場合は下記⑬を記入してください。

4月							5月						
1	2	3	4	5	6	7	~~1~~	2	~~3~~	~~4~~	~~5~~	6	7
8	~~9~~	~~10~~	11	12	△13	14	8	9	10	11	12	13	14
△15	~~16~~	~~17~~	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	~~23~~	~~24~~	25	26	27	×28	22	23	24	25	26	27	28
~~29~~	~~30~~	31					29	30	31				

⑬ 職業訓練を一部のみ受けた日について、右の時間割に該当する印を付けてください。

(1)出席した時限　○印
(2)欠席した時限　×印
(3)遅刻した時限　／印
(4)早退した時限　＼印
(5)訓練を実施していない時限　＝印（取消線）

	1	2	3	4	5	6
4月13日（水）時限	／	○	○	○	○	○
4月15日（金）時限	○	○	○	○	＼	×

欠席・欠課等は、その理由を⑭欄に記載してください。

⑭ 特記事項　4/13　1限(10分)列車遅延、4/15　5限(30分)～6限　風邪早退、4/28　忌引き(叔父の葬儀)

⑮ 上記の記載事実に誤りのないことを証明する。

平成　28 年　5 月　6 日　学校法人求職者支援学園　学園長　内定 職之 代表者印

（求職者支援訓練等の施設の長の職氏名）

欠席日数	1日	0.5日	合計	出席日数／訓練日数（除外前訓練日数）	除外日数	出席率
				／（　）		%

※職員記入欄

職業訓練受講手当	通所手当

※印欄には記載しないでください。

所長		次長		統括							

（注　意　事　項）

1　⑫及び⑬欄については、⑨欄に記載した「支給申請を行う訓練期間」における受講状況を記載してください。
2　⑭欄には、職業訓練の出欠に関し、本人の申告などで特記すべき事項がある場合に記載してください。
3　※印欄には、記載しないでください。

受講証明に係る留意事項

1．受講証明について

求職者支援訓練の受講者は、訓練期間中（訓練開始２ヶ月目以降）、支給単位期間終了後に毎月１回ハローワークへ来所することになっています。この指定来所日の際に、職業訓練受講給付金の受給者は、訓練実施施設による受講証明を受けた『職業訓練受講給付金支給申請書』を提出し、支給申請の手続きを行います。

このため、訓練実施機関においては、受講者が職業訓練受講給付金支給申請書を持参した場合、対象の受講者の出欠状況を申請書の裏面⑫～⑭欄に記載し、⑮欄を証明の上、受講者へ交付してください。（指定来所日に支給申請を行うことができない場合はハローワークにご相談ください。）

2．求職者支援訓練等受講証明の欄の記入について

「求職者支援訓練等受講証明」の⑫欄のカレンダーに、⑨欄で記載した「支給申請の対象となる訓練期間」における受講者の出欠状況を記載してください（鉛筆不可）。

- ✽「＝」　職業訓練が行われなかった日（土日祝日等）
- ✽ **出席した日は　記載なし**
- ✽「△」　職業訓練を一部のみ受講
- ✽「×」　職業訓練を受けなかった日

※上記、「△」 職業訓練を一部のみ受講した日については、⑫欄に時限毎の出欠状況を記載、これに加え⑭欄の特記事項欄に、当該欠席のあった日、時限、理由及び時間数（分単位）を記入してください。

★訓練実施機関が受講者に対して、支給に必要な欠席理由を証明する資料の確認をする必要はありません（受講者がハローワークに対して証明書類を提出することになります。）。
★給付金支給に係るトラブル防止のため、受講者が欠席等をする場合、事前に（やむを得ない場合は事後遅滞なく）欠席届・遅刻・早退・欠課届により、訓練実施施設に届け出るようお願いします。

「職業訓練受講給付金支給申請書」の記載方法に関して不明な点がありましたら、労働局またはハローワークへお問い合わせください。

参考〔やむを得ない理由の例〕

- 本人の病気やけがのため
- 天災等（暴風雨雪、列車遅延、交通事故など）のため
- 求人者の面接（採用試験を含む。）を受けるため
- ハローワークが指示したセミナーなどを受講するため
- 各種国家試験、検定などの資格試験を受験するため
- 親族（※）の病気やけがの看護、介護をするため
- 本人や親族（※）の結婚のため
- 親族（※）の危篤、死亡または葬儀のため
- 配偶者、３親等以内の血族または姻族の法事のため
- 中学生以下の子どもの入学式または卒業式などに出席するため
- 求職者支援資金融資の手続きで労働金庫に行くため
- 公共職業訓練の受講者が指定来所日にハローワークに来所するため
- 雇用保険の説明会や失業認定日にハローワークに来所するため　　など

※「親族」とは、６親等以内の血族、配偶者および３親等以内の姻族を指します。